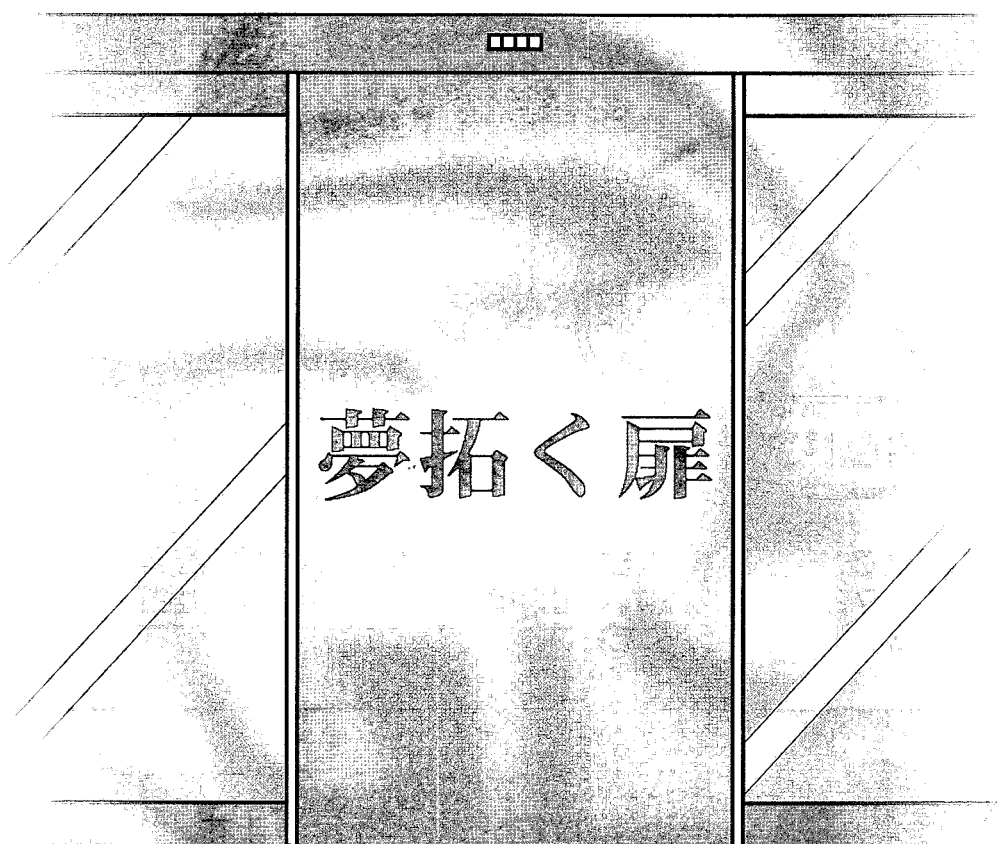


お客様用

Smillion自動ドア 取扱説明書



- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 大切に保管し、わからないときは再読してください。

建設会社・販売店・施主の皆様へ

- この取扱説明書を実際に使用される方へお渡しください。

昭和建産株式会社

はじめに

- この取扱説明書は、**Smillion** 自動ドアを正しく安全に使用していただくためのガイドブックです。
- この取扱説明書をよく読まれ、「使用上のご注意」や「操作方法」などについて、十分理解された上で、ご使用ください。特に「使用上のご注意」は、守らないと人身事故につながる可能性もありますので、十分に注意してください。

安全にお使いいただくために

自動ドアを通る一般通行の方の安全のために、「警告ラベル」、「ステッカー」を必ずお貼りください。



この取扱説明書では、注意していただきたい事項をお客様が区別できるように、下記のようなマークをつけています。本書の中でこれらのマークに出会ったら、記載内容の区分に気をつけてお読みください。



警告

取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負うかまたは物的損害の可能性のあることを示します。

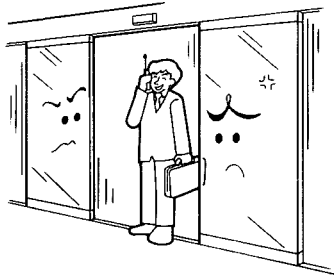
目 次

1. 使用上の注意	3
(1)使用上の注意.....	3
(2)取扱い上の注意.....	3
(3)通行者の安全を高めるために.....	4
2. 各部の名称とそのはたらき	5
(1)名称とそのはたらき.....	5
(2)センサの種類.....	6
3. 操作方法	7
4. 日常点検とお手入れ方法	7
5. 異常時の処置	8
6. マイコン型自動ドアの初期動作について	9
7. 維持管理にあたって（通行者の安全性を高めるために） ...	10
8. 保守契約（定期点検）	10
9. 保証内容	裏表紙

1. 使用上の注意

(1) 使用上の注意

ドアの間には立ち止まらない。



斜め進入はしない。



駆け込まない。

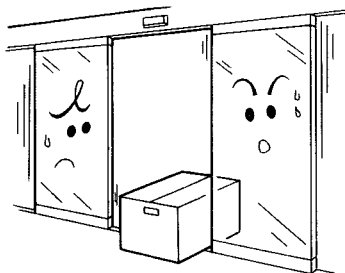


子供を遊ばせない。

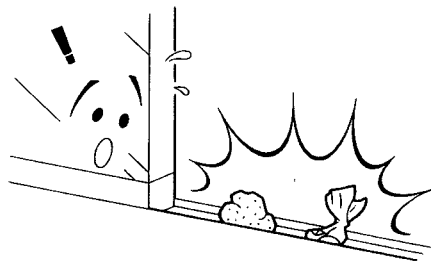


(2) 取扱い上の注意

ガイドレールの上に物を置かない。



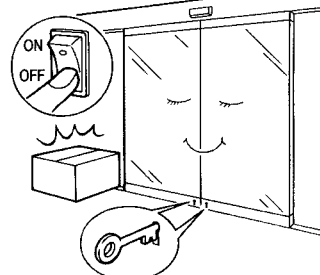
ガイドレールは常に点検。



無理に開閉しない。

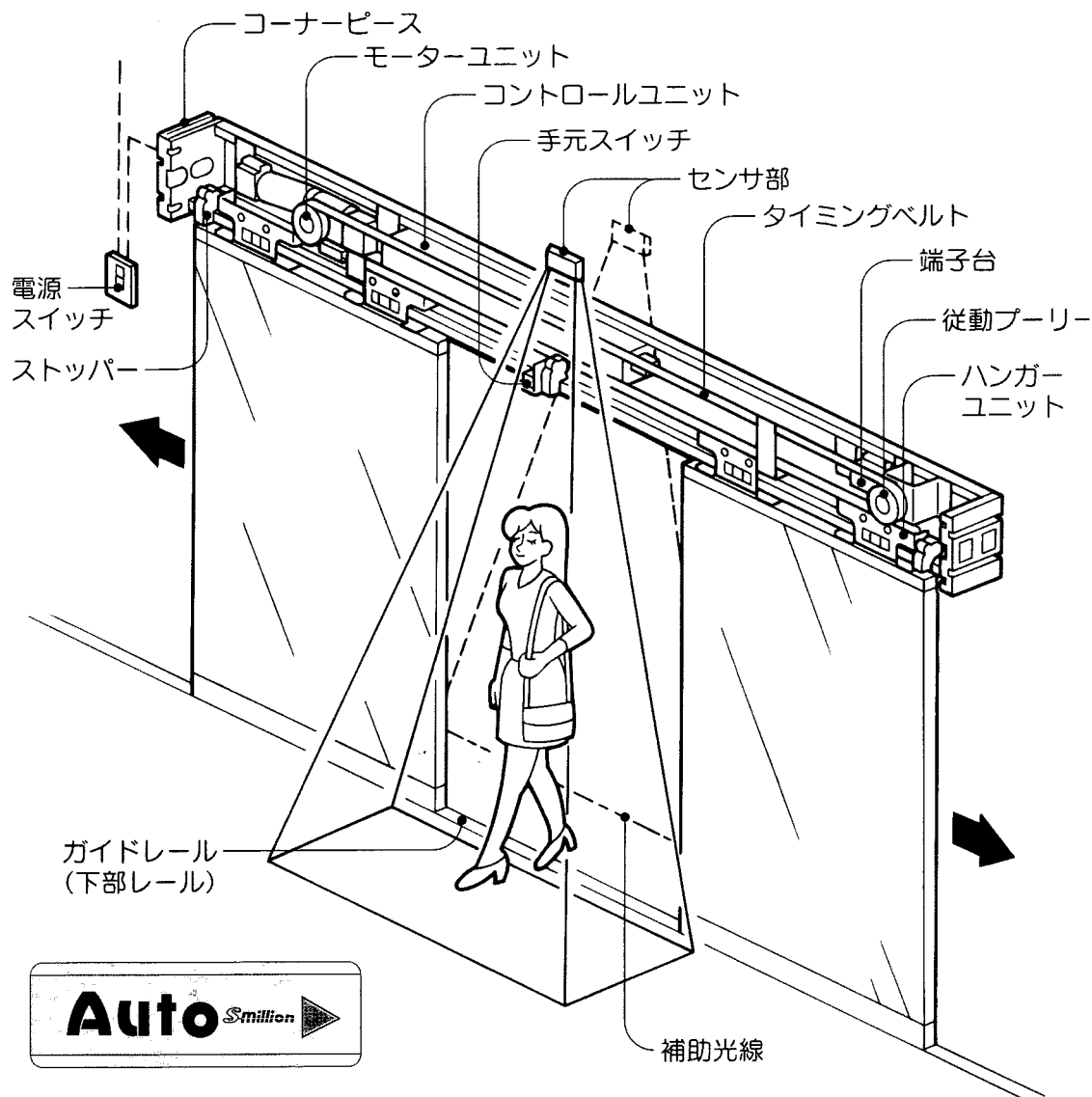


確認しましょう。



2. 各部の名称とそのはたらき

(1) 名称とそのはたらき



■自動ドアの構成

1. 駆動部

モーターユニット(モーター・減速機)、タイミングベルト、従動プーリー、ドアハンガーより構成され、コントロールユニットからの指令で扉を開閉する。

2. コントロールユニット

自動ドアの頭脳といえる部分でセンサからの電気信号を受け取り、駆動部の動きをコントロールします。

3. センサ部(検知器)

ドアに近づいた人や物体を感知し、コントロールユニットに電気信号を送ります。

4. 補助光線

光線を人体等が遮ることによりドアが閉まってきません。

(2) センサの種類

■センサ (検知器)

起動(開閉)スイッチ

室内	室外	スイッチの種類	動作原理	取扱上の注意
		光線スイッチ (反射スイッチ)	放射された赤外線の反射光が人体等によって変化することを検出する。	検知エリア内にのれん・植木などを置かないでください。雨があたらないようにしてください。
		熱線スイッチ	人体から放出される熱エネルギー(遠赤外線)の変化を検出する。	検知エリア内にのれん・植木などを置かないでください。雨があたらないようにしてください。 熱線の近くでは使用しないでください。
		マイクロ波スイッチ (レーダー)	電波の反射により動く物体を検出する。	検知エリア内にのれん・植木などを置かないでください。雨があたらないようにしてください。
		タッチスイッチ	スイッチ部分を軽く手で触れることにより検出する。	水洗い・水掛けはしないでください。
		補助光線 (上記センサと併用することにより挟まれ事故をある程度防ぐことができます。)	光線を人体等が遮ることにより検出する。	間口の両側にあるレンズに水滴・ゴミなどが付着すると誤作動をしますので、定期的に清掃してください。

その他のスイッチ: ペダルスイッチ・押し釦スイッチ・電子マットスイッチ・磁気ガードスイッチ・テンキースイッチ・無線スイッチ・プルスイッチ・マットスイッチ



注意

- ①タッチスイッチを使用する場合はドアに挟まれる可能性がありますので、補助光線とセンサーとの併用でご使用願います。
- ②補助光線の雪国タイプの場合60秒以上、光線を遮ると扉が閉まりますので注意してください。

3. 操作方法

操作前に必ず下記の注意事項を確認してください。



警告

自動ドアの廻りに人がいないこと、また、物が置かれていないことを確認してから電源スイッチ及び手元スイッチを**ON**にしてください。
自動ドアが閉まりかけている時の出入りは、絶対にしないでください。
ぬれた手で電源スイッチに触れないでください。感電します。

(1) 電動運転

- ①使用開始時(開店時)は、必ずドア錠を解錠してから電源スイッチや手元スイッチを**ON**にしてください。
- ②自動ドアは、人や物をセンサが検知すると、ドアは設定速度で開き、全開手前でブレーキが働いて、低速で開きます。タッチ式スイッチの場合は、スイッチ部分を軽く手で触れてください。
- ③自動ドアは、人や物が通過しセンサが切れ、開放時間(開きタイマー)が経過すると、ドアは設定速度で閉まり、全閉手前でブレーキが働いて低速で閉まります。
自動ドアが閉まる途中で、人や物をセンサが検知すると、反転してドアは開きます。
- ④使用終了後(閉店時)は、必ず電源スイッチ又は手元スイッチを**OFF**にしてから、ドア錠を施錠してください。

(2) 手動運転

- ①清掃時や大きなもの出し入れの時には、挟まれ防止のため必ず電源スイッチ又は手元スイッチを**OFF**にしてください。
- ②自動ドアを手動で開閉してください。特に閉める際、勢いよく閉めると**指を挟む**恐れがありますので、手の平を扉面に付け、静かに閉めてください。
- ③停電時には、必ず電源スイッチまたは手元スイッチを**OFF**にしてください。
落雷等が発生した場合、コントロールユニットが破損される恐れがあります。停電が解除された場合、電源スイッチ又は手元スイッチを**ON**にすると学習動作を行い、平常運転に戻ります。
- ④引渡し設定の場合、物の出入等で扉を全開にする場合に枠と扉に指を挟む恐れがありますので十分注意してください。

4. 日常点検とお手入れ方法




警告

点検・お手入れの前には、必ず電源スイッチ及び手元スイッチを**OFF**にしてから行ってください。
エンジンケース内には、精密機器があり、触れたりすると誤動作の原因になりますので、ケース蓋は、開けないでください。
また、掃除の際センサやエンジン本体に水が掛からないようご注意ください。

(1) 日常点検

- ①下部レール内のパチンコ玉や小石、ゴミ等を取り除いてください。
- ②使用開始前もしくは使用終了後に、電源スイッチ又は手元スイッチを**OFF**にしたままで、ドアを手で開閉しドアの動きを確認してください。
以下の項目のように異常があれば、販売店又はサービス店に電話連絡してください。
- ③開閉の際、所定の位置で停止しないもしくは、急に今までとは異なった音がするようになった。
- ④ドアの動きがおかしい。
- ⑤ドアが開いたまま、閉まってこない。

5. 異常時の処置



注意

電源スイッチ及び手元スイッチを**ON**にしたまま処置を行いますと、ドアが急に動き**挟まれ事故・損壊事故**を起こすことがありますので、必ず電源スイッチ及び手元スイッチを**OFF**にしてください。
点検中に他の人に、電源スイッチ又は手元スイッチを**ON**にされないように、「点検中」とわかるように表示してください。
異常時の処置を終え、運転再開する場合は、安全を確認の上、電源スイッチや手元スイッチを**ON**にしてください。

異常の内容	原因	処置方法
センサが感知せず、ドアが動かない。	① 分電盤・配置盤のブレーカーが OFF になっている。	ブレーカーのスイッチを入れてください。
	② 電源スイッチ又は手元スイッチが、 OFF になっている。	電源スイッチ又は手元スイッチを ON にしてください。
	③ センサの異常	販売店又はサービス店に連絡してください。
センサは感知するがドアが開かない。	① ドア錠が施錠されている。	電源スイッチ又は手元のスイッチを OFF にしてからドア錠を開錠してください。
	② ドアに障害物がひっかかっている。	電源スイッチ又は手元のスイッチを OFF してから障害物を取り除いてください。
	③ センサの異常	販売店又はサービス店に連絡してください。
ドアは開くけれど、閉まらない。ドアが自然に開閉する。	① センサが検知し続ける。	電源スイッチ又は手元スイッチを OFF にしてからのれんや植木等検知物を移動してください。
	② 補助光線のレンズにゴミ・雪等が付着している。	電源スイッチ又は手元スイッチを OFF してから付着物を取り除いてください。
	③ センサの誤作動。	販売店又はサービス店に連絡してください。
ドアがきちんと閉まらない。	① ドアに障害物がひっかかっている。	電源スイッチ又は手元スイッチを OFF してから障害物を取り除いてください。
	② ガイドレールに異物がつまっている。	電源スイッチ又は手元スイッチを OFF してから異物を取り除いてください。
	③ ドア錠が施錠されたままである。	電源スイッチ又は手元のスイッチを OFF してからドア錠を開錠してください。
	④ 制御部の調整不良。	販売店又はサービス店に連絡してください。
閉まりきる前に再び開いてしまう。	① 閉まる途中に障害物がある。	電源スイッチ又は手元スイッチを OFF してから障害物を取り除いてください。
	② センサの誤作動。	販売店又はサービス店に連絡してください。
鍵が掛かりにくい。	① 鍵受けにゴミ・異物が詰まっている。	電源スイッチ又は手元スイッチを OFF してからゴミ・異物を取り除いてください。

※故障時の連絡は、点検カバーに貼付してある『アフターサービスステッカー』に記載されている連絡先に電話連絡してください。

6. マイコン型自動ドアの初期動作について

ミリオン DCシリーズは、マイコンにより機械の動作制御を行う自動ドアです。
電源スイッチ及び手元スイッチを**OFF**から**ON**にした直後、扉の開ききる位置や閉まりきる位置を機械自身が判断するため、下記のような非常にゆっくりした開閉動作を必ず一回行います。
これを「**学習動作**」といいます、自動ドアの故障ではありません。

電源スイッチ及び手元スイッチを OFF から ON にしたとき	扉が完全に閉まっているか半開きの状態ならば	低速で全開してその位置から、低速で全閉します。
	扉が全開の状態ならば	さらに全開後、低速で全閉します。

※上の「**学習動作**」が正常に終了すると、その後は通常の動作状態に入ります。

「**学習動作**」及び「**通常動作**」中に次にあげるようなことが起こった場合には、下記をよくご覧の上正しくお取扱ください。(決して故障ではありません。)

結果・現象	原因	処置方法
学習動作時に指定の位置まで扉が開かない・閉まらない		
学習動作が完全に終了する前に、センサが感知して何回でも学習動作を繰り返す。	学習動作中に、本人や他の人がセンサの感知範囲に入ったときなど。(タッチスイッチを押したときなども同様)	学習動作中は、センサを感知させないようにしてください。
学習動作中に扉が停止したり、扉を停止させたりしたとき		
センサが正常に検知していても、扉は全く開かない。	錠をかけたまま電源スイッチを ON にしたとき。(開閉動作をまったくしないまま学習動作が終了してしまったとき)	電源スイッチを OFF にしてください。異常動作の原因となった、錠を解錠したり、障害物を取り除いたりした後で、再度電源スイッチを ON にしてください。学習動作が正常に終了すれば元の状態に復帰します。
学習動作の時に指定の位置まで扉が開かない。閉まらない。	開きの学習動作中に障害物やガイドレール(下部レール)に詰まったゴミまたは強い風などにより、扉の動作が妨げられたとき。	
通常動作で扉が閉まる動作中に、人又は障害物に当たった場合。	扉は反転開放し低速で閉まる。センサが検知した場合、早く開くが閉まりは閉まりきるまで低速で閉まる。閉まりきれば通常運転となる。故障ではありません。	
通常動作で扉が開く動作中に障害物に当たった場合。	当たった位置で10秒間停止して扉が閉まる。取り除いて通常運転となる。故障ではありません。	

※自動ドアの動作が変わったら、一度スイッチをOFFにして再度ONに入れ直してみてください。
※電源をOFFの時に扉を手動で操作する場合、扉と枠に手を挟まれないよう十分注意をしてください。

7. 維持管理にあたって（通行者の安全性を高めるために）

自動ドアを良好な状態に維持し、通行者の安全性を高めるためには、日常の管理者の自主点検に加え、保守、部品交換、修理などのメンテナンスが欠かせません。これらを円滑に行うにはミリオンのメンテナンスサービスをご利用ください。

- 引き渡し後は管理責任が建物の所有者に移ります。
- 所有者は使用前に必ず取扱説明書を読み、自動ドアを正しい方法で使用し、維持管理を行ってください。
- 管理責任者は日常の自主点検を行ってください。

8. 保守契約（定期点検）

自動ドアにおける維持管理とは、ただ単に毎日開閉が行われるから良いということではありません。その安全性と機能に対する保守点検・整備を積極的に行い、常に良好な状態に持続させるために、ミリオンの保守契約をお勧めします。



点検チェック内容

開閉状態の点検・開閉機構とエンジン部点検・作動状態の点検その他の点検等を行います。

契約内容

自動ドアの保証期間は取付日より一年間ですが、その後は保守点検チェックリスト項目に定められた内容にもとづき、保守点検実施回数(年間)を定め、実施する月及び契約期間・契約料金を決めます。

報告

性能、安全性、機能について保守点検基準にもとづき行った点検結果を報告致します。なお、点検により異常を認められた場合、協議の上処置致します。

契約時期

アフターサービスステッカーに記載されている連絡先まで申しつけ下さい。お客様に保守点検契約についての詳細な内容を記載してある書類を送付致します。

契約期間

契約期間は一年間とし、その後は、お客様の了解を得て、自動継続できます。

問い合わせ先：販売店又はサービス店

9. 保証内容

この商品には保証書がついています。

保証書は再発行致しませんので内容をよくお読みいただいた後、大切に保管して下さい。

Smillion 保証内容について

保証期間： 自動ドア本体 設置日より1年間

保証内容：

取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生したときには、以下に示す免責事項を除き無料修理いたします。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など）
- ② 表示された自動ドアの性能を超えた使用による不具合
- ③ 建築躯体の変形など自動ドア以外の不具合に起因する自動ドアの不具合
- ④ 自動ドア又は自動ドア構成部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かび、その他の不具合
- ⑤ 自動ドア周辺の自然環境、住環境等に起因する結露、腐食又はその他の不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑥ 自動ドア又は自動ドア構成部品の材料特性に伴う現象
- ⑦ 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合
- ⑧ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑨ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑩ 引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪ お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
- ⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
- ⑭ その他上記に準ずる不具合
- ⑮ 自動ドア保証書の字句を書きかえられた場合
- ⑯ 自動ドア保証書の原本の提示のない場合

自動ドア保証書は日本国内において有効です。

三和シャッターグループ Smillion 昭和建産株式会社

本社 / 〒131-0033 東京都墨田区向島3-34-15 TEL.03-5819-2821
FAX.03-5819-2825
群馬工場 / 〒370-0603 群馬県邑楽郡邑楽町中野1453 TEL.0276-88-2121
FAX.0276-88-7054

特販部 / ☎03-5819-2821 名古屋営業所 / ☎052-503-3303
営業部 / ☎03-5819-2821 大阪営業所 / ☎06-6491-3390
東京営業所 / ☎03-5819-2601 福岡営業所 / ☎092-414-9161

グループ会社 三和シャッター工業株式会社
昭和フロント株式会社
三和タジマ株式会社

ホームページ <http://www.s-kensan.co.jp/>

JADA

昭和建産株式会社は全国自動ドア協会の正会員です。

●アフターサービス、保守契約のお問い合わせは当店へ（サービス店）

●販売店

昭和建産大阪販売(有)

〒580-0006
大阪府松原市大堀1丁目9番地11号
TEL 072-333-9562
FAX 072-330-3943

昭和建産大阪販売(有)

〒580-0006
大阪府松原市大堀1丁目9番地11号
TEL 072-333-9562
FAX 072-330-3943